

13 留守家庭児童会の運営

①施策の展開	地域教育コミュニティの推進	課名	社会教育課
②取組概要	保護者が労働などのため昼間家庭にいない小学校 1 年生から 3 年生までの児童に、放課後や夏休みなどに適切な遊びや生活の場を提供する。		
③構成取組	(1) 留守家庭児童会児童健全育成事業 (2) 留守家庭児童会運営管理事務 (3) 留守家庭児童会施設管理事務		

④取組計画	(1) 放課後児童の健全育成を図る。 (2) 協力金の徴収方法について検討する。 (3) 大規模児童会の解消について検討する。
-------	---

⑤取組実績

(1) 児童の放課後及び学校の休業日の生活拠点として異年齢集団の活動を通して、心身の健全な発達を促した。また、児童指導員の育成と指導力の向上のため、新たに「リーダー児童指導員」の職を設けるための事務を進めた。

- これまで保護者から、開所時間の延長についての要望があったため、公立保育所・公立幼稚園に在籍している 5 歳児・4 歳児の保護者を対象にアンケート調査を行った。

<入会児童数> (各年度 5 月 1 日現在)

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
児童数 (1 ～ 3 年生)	6,402 人	6,128 人	6,081 人
入会児童数	1,487 人	1,463 人	1,466 人

	<p>(2) 協力金の徴収方法（平成 24 年度より分担金として位置づけ保育料として徴収）について、寝屋川市留守家庭児童会保育料徴収条例を 12 月市議会に上程し、可決された。</p> <p>(3) 大規模児童会の解消について、学校との連携により、平成 24 年度より東小学校で分割できるよう事務を進めた。</p>
--	---

⑥評価	<p>(1) 児童に放課後の適切な遊びや生活の場を与え、健全育成に資することができた。リーダー児童指導員採用の 1 年目となる平成 24 年度は、今後の方向性を確立するためにも、リーダー児童指導員の役割を明確にする必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート調査を実施した結果、開所時間の延長については、必要とするとの回答が全体の 2 %にとどまるなど、市民ニーズを把握することができた。 <p>(2) 寝屋川市留守家庭児童会保育料徴収条例を制定することで、平成 24 年度からは、納付がない保護者に対して督促を行い、納付を促すことで、市民負担の公平性への期待ができることとなった。</p> <p>(3) 児童数の多い東小学校留守家庭児童会を、2 つのクラブ分割の平成 24 年度実現に向け、具体的に道筋をつけることができた。</p>
-----	---